

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #1

ほぎうた

# 寿歌 *Ode to Joy*

演出:宮城聡

作:北村想

美術:カミイケタクヤ

出演:奥野晃士、春日井一平、たきいみき[50音順]

## 日時

### ●一般公演

10月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、26日(土)

各日14:00

### ●中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP(スペースシップ)げきとも」

SPACでは静岡県内の中高生を対象に招待公演を行います。※印は一般販売のお席あり(枚数限定)。詳細は公式サイトへ。

10月11日(金)14:30※、15日(火)13:00※、17日(木)13:30

18日(金)12:00、21日(月)13:30、23日(水)13:30/18:00※

24日(木)12:00、25日(金)13:30

### ●出張公演(中高生鑑賞事業公演)

10月30日(水)、31日(木)、11月7日(木) 各日13:30

※出張公演の会場は浜松市天竜区壬生ホール

## 会場 静岡芸術劇場

製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

《上演許可番号:So Kitamura 2019 No.0007 岡野宏文》

初演:愛知県芸術劇場小ホール(愛知県芸術劇場・SPAC・静岡県舞台芸術センター共同企画)



『寿歌』(2018年) 舞台芸術公園 野外劇場「有度」

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #1 『寿歌』 についてのお問い合わせならびに取材のご希望は、

「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当:内田」までお願いいたします。

TEL: 054-208-4008 (舞台芸術公園) / FAX: 054-203-5732 / E-mail: uchida@spac.or.jp

## ■宮城聡が寿ぐ伝説の喜劇、ふたたび!

劇作家・北村想が1979年に発表した『寿歌』は、80年代小劇場演劇の金字塔とも称され、発表から40年、絶えず上演され続ける伝説の戯曲です。

物語の舞台は、核戦争後のある関西の地方都市。廃墟の上空を核ミサイルが横切るなか、旅芸人ゲサクと少女キョウコ、そして謎の男ヤスオが、チンドンの歌と踊り、漫才を繰り広げながら明るくさすります。

SPAC版『寿歌』は、昨年3月の愛知県芸術劇場を皮切りに、全国7都市を巡回し、「ふじのくににせかい演劇祭2018」での上演では、舞台芸術公園・野外劇場「有度」を満席にしました。この快作が、シーズン開幕作として静岡芸術劇場に登場します。

## ■静岡芸術劇場が廃墟に――

### 世界にたった一つ残った劇団が演じる『寿歌』

出演者3人と、彼らが家財道具を積んだリヤカー1台以外何もない空間で上演されることが多い『寿歌』。SPAC版では、美術家・カミイケタクヤが手掛ける“メビウスの輪”の形をしたセットと、“朽ちないゴミ”として敷き詰められたカラフルなプラスチックゴミが、異彩を放ちます。

今回の再演にあたり、宮城は、観客がよりリアルに戦争後の焼け跡を感じられるよう、美術プランに「数百年後の静岡芸術劇場」というコンセプトを付加し、劇場内はもちろんロビーにも様々な仕掛けを施します。さらには衣裳も一新。廃墟と化した劇場で、世界にたった一つ残った劇団(旅芸人一座)が演じている『寿歌』――その楽しくもどこか切ない舞台は、観客の胸を熱くすることでしょう。



『寿歌』(2018年) 舞台芸術公園 野外劇場「有度」

## ■プロフィール

演出:宮城 聰(みやぎ・さとし)



1959年東京生まれ。東京大学で演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。

14年アヴィニョン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演。アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。平成29年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。

作:北村 想(きたむら・そう)



1952年生まれ。独居独身。84年『十一人の少年』で第28回岸田國士戯曲賞、90年『雪をわたって...第二稿・月のあかるさ』で第24回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。96年より兵庫県伊丹市のアイホールにて、戯曲講座「伊丹想流私塾」(2017年より「伊丹想流劇塾」と改名、現在は名誉塾長)を開塾、後進の指導、育成にあたる。14年『グッドバイ』で第17回鶴屋南北戯曲賞受賞。

### チケット 全席指定

一般:4,200円 / ペア割引:3,700円(2名様で1枚につき)  
ゆうゆう割引:3,500円[満60歳以上の方]  
学生割引:2,000円[大学生・専門学校生]1,000円[高校生以下]  
※その他グループ割引、障がい者割引がございます。

★静岡県内の小学生ご招待(1公演5名様まで)

### チケットお取り扱い

#### SPAC チケットセンター

TEL:054-202-3399 (10:00~18:00/休業日を除く)

※公式サイト、劇場窓口でもご購入いただけます。

### お問い合わせ SPAC-静岡県舞台芸術センター

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

TEL:054-203-5730 / FAX:054-203-5732

E-mail:mail@spac.or.jp / 公式サイト:https://spac.or.jp

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #1 『寿歌』 についてのお問い合わせならびに取材のご希望は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当:内田」までお願いいたします。

TEL:054-208-4008 (舞台芸術公園) / FAX:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp

## 観劇希望者募集中!

### 「私のあしながおじさんプロジェクト for Family」

地元の団体・個人の皆様のご協力のもと、劇場に足を運ぶ機会が少ないご家族を劇場に招待し、「親子で一緒に本格的な演劇作品を鑑賞する」体験を届けるプロジェクトです。

2017年度の「秋→春のシーズン」#1『病は気から』・#3『しんしゃく源氏物語』で実施し、計9組22名の親子が観劇、喜びの声を多数いただいたことから、『寿歌』で再び行うこととなりました。

※本作のほか#4『グリム童話 ~少女と悪魔と風車小屋~』(2020年1月~2月)でも実施します。

#### <参加対象>

静岡県内でひとり親家庭支援を受けているご家庭、就学援助を受けているご家庭(定員:30組程度)

※小学5年生以上対象。児童・生徒だけの観劇もできます。

#### <申し込みメ切>

#### 各一般公演日の1週間前

#### <申し込み方法>

SPAC公式サイト「私のあしながおじさんプロジェクト for Family」観劇希望者募集ページ(<http://spac.or.jp/news/?p=15510>)をご確認いただくか、下記にお問い合わせください。

SPAC制作部 担当:雪岡、丹治 (TEL:054-203-5730)

#### チケット贈呈式

10月12日(土)の公演の開演前に、劇場ロビーにて「チケット贈呈式」を開催します。こちら是非ご取材ください。

## ●●● 会期中のイベント ●●●

### ◆プレートーク 一般公演日の開演25分前より

舞台をより面白く観劇できるポイントをご紹介します。

### ◆はじめての演劇鑑賞講座 10/12(土) 12:30~13:30

講師:中野真希(『寿歌』演出補) [参加無料/要予約/定員20名]

### ◆アーティストトーク

#### 10/12(土)、20(日) 終演後

演出の宮城聡とゲストや出演者によるトークを開催します。

### ◆バックステージツアー 10/13(日)、19(土)、26(土) 終演後

創作・技術部スタッフが舞台裏を特別にご案内します。

(参加無料/要予約/定員40名) ※所要時間約30分

### ◆カフェ、シンデレラで逢いましょう!

終演後は、出演者が舞台衣裳でお見送りに登場します!写真撮影や握手など俳優との交流をお楽しみください。

★各イベントのお申し込みはSPACチケットセンターまで